

フラザイオン(FRASER-T)*For microbiological control only***FRASER broth (FRASER-T)**

食品中のリステリアの選択増菌

用途

フラザイオンは、食品検体中の *Listeria* を選択的に増菌する培地です。

本培地での増菌は、食品中の *Listeria monocytogenes* の検出に関する通知法や EN ISO11290-1/A1(1) に準拠していません。

原理

本培地にはペプトンと緩衝液から構成される栄養価の高い基礎培地が含まれ、pH が主な *Listeria* 属菌の発育に適した中性近くに保たれています。

他の微生物の増殖を抑えるために、塩化リチウム、アクリフラビン、ナリジクス酸が含まれています(2)。したがって、本品は、特に高濃度の微生物で汚染された検体に適しています(3)。*Listeria* 属菌を含む場合、エスクリンの加水分解により、クエン酸鉄アンモニウムを含む培地の色調が黒変します。これにより、検体中の *Listeria* 属菌の有無を推定することができます。

キット構成

	調製済み培地	
REF 42072	試験管培地	20 本(10 mL)

組成(g/L)**理論値 (g/L)**

性能を確保するため、若干変更される場合があります。

アニマルペプトン(ウシまたはブタ)	10.0 g
肉エキス(ウシまたはブタ)	5.0 g
酵母エキス	5.0 g
塩化ナトリウム	20.0 g
緩衝混合液	13.35 g
エスクリン	1.0 g
塩化リチウム	3.0 g
クエン酸鉄アンモニウム	0.5 g
アクリフラビン	0.025 g
ナリジクス酸	0.02 g
精製水	1 L
	pH7.2

必要な試薬

- ハーフフラザイオン (品番 42048)
- パルカム寒天培地 (品番 AEB522050)
- オックスフォード寒天培地 (品番 AEB522000)
- ALOA 寒天培地 (品番 AEB520079 又は AEB520080)

必要な器材

- ふ卵器
- ブレンダーバッグ

追加試薬

- バイダス アッセイキット リステリア(品番 30700)
- バイダス アッセイキット リステリアモノサイトゲネス 2 (品番 30704)

使用上の注意

- 微生物試験にのみご使用下さい。
- 熟練者のみご使用下さい。
- 本培地は動物由来の原料を含みます。由来に関する知識、由来動物の衛生状態は感染性のある病原体がいなことを保証するものではありません。したがって、これらは潜在的に感染の可能性があるものとして、充分ご注意の上お取り扱い下さい(接種または吸入しないで下さい)。
- 全ての検体、培養物および検体を接種した製品は感染性があるものとして適切にお取り扱い下さい。被検菌の無菌操作および通常操作の留意事項は以下のガイドラインをご参照下さい。安全ガイドライン: “CLSI® M-29A, *Protection of Laboratory Workers from Occupationally Acquired Infections; Approved Guideline – Current revision*” 操作留意事項 “Biosafety in Microbiological and Biomedical Laboratories - CDC/NIH – Latest edition” または各国の最新のガイドラインに従って下さい。
- 本培地を製造原料として使用しないで下さい。
- 有効期限切れの製品は使用しないで下さい。
- コンタミしている培地は使用しないで下さい。
- 使用前にキャップに破損がないかご確認下さい。
- 本培地は取扱い説明書に記載されている操作方法に従って使用して下さい。操作方法を変更すると結果に影響を及ぼすことがあります。

貯蔵条件

- 2~8℃下で使用期限まで保管して下さい。
- 遮光して下さい。

検体

検体のサンプリングおよび前処理については、最新の標準法の推奨などに従って下さい。

使用法

培地を室温に戻して下さい。

従来法:

通常、ボトル培地(品番 42048)あるいはブレンダーバッグ中で検体を 1/10 に希釈します(例: 検体 25 g に対して、培地 225 mL)。よく攪拌後、通知法に従い 30℃で 24±3 時間培養します。一次増菌培養後、その 0.1 mL をフラザイオン 10 mL に接種し、培養します。37℃で 48±3 時間培養後 ALOA 寒天培地などの選択培地(オックスフォード寒天培地又はパルカム寒天培地)で分離します。その後フラザイオンをさらに 37℃で 48 時間まで培養し、前述の選択培地上に接種します。

VIDAS システムを用いた方法:

VIDAS は、食品中の病原微生物を迅速に検出するための自動免疫蛍光測定装置です。

- VIDAS 試薬の添付文書をご参照下さい。

判定

ご使用の試薬の添付文書をご参照下さい。

品質管理

本培地は厳格な品質への要望を満たすよう開発・製造されています。また、バイダス システムで細菌学および免疫学的な品質管理を実施しています。

ロットごとの品質管理試験の結果は、試験成績書に記載されています(ご要望により提供致します)。

品質管理は、標準法XP CEN ISO/TS 11133-2 (5)の推奨された方法で実施されています。本培地は、免疫学的反応の全ての特異性を考慮して開発されました。

ビオメリュー社は、最適条件および同時再現結果を確実にバイダスシステムで得るために、本培地の使用を推奨します。

留意事項

- フラザグイオンは *Listeria grayi* の増菌には適していません。これは病原性のない種で主に土壌から検出されますが、食品中からはほとんど分離されません。
- 培地中に緑がかかった沈殿がみられることがありますが、培地の性能には影響ありません。

廃棄処理

未使用の有害試薬類は、有害化学物質の廃棄処理手順に従って処理して下さい。

未使用の無害試薬類は、通常の化学物質の廃棄処理手順に従って処理して下さい。

使用済み試薬およびその他の汚染廃棄物は全て、感染性もしくは感染の危険のある製品の取扱い方法に従って処理して下さい。

廃棄物や汚染水については、それぞれの性質または有害性の度合いに応じ、各施設の責任の下、適切な規制に従い、取扱いおよび廃棄処理を行って下さい。

参考文献

1. NF EN ISO 11290-1/A1 (February 2005) - Microbiology of food and animal feeding stuffs - Horizontal method for the detection and enumeration of *Listeria monocytogenes* - Part 1 : detection method - Amendment 1 : modification of the isolation media, of the haemolysis test and inclusion of precision data.
2. FRASER J.A., SPERBER W.H. - Rapid Detection of *Listeria* spp. in Food and Environmental Samples by Esculin Hydrolysis - *J. of Food protection*, 1988, vol. 51, p.762-765.
3. RODRIGUEZ L, FERNANDEZ G., GARAYZABAL J. et al. - New Methodology for the Isolation of *Listeria* Microorganisms from Heavily Contaminated Environments. - *Applied and Environmental Microbiology*, 1984, vol. 47, p. 1188-1190.
4. HOLBROOK R., ANDERSON J.M., BRIGGS T.A. et al. - Faster detection of *Listeria* in food using rapid immunoassay following culture - 3rd World Congress foodborne infections and intoxications, (16-19 June 1992), Berlin, p.1208-1210.
5. XP CEN ISO/TS 11133-2 (2004) - Microbiology of food and animal feeding stuffs. Guidelines on preparation and production of culture media. Part 2: Practical guidelines on performance testing of culture media.

記号

記号	内容
	品番
	製造元
	保管温度
	使用期限
	ロット番号
	添付文書を参照
	遮光

(問い合わせ先)

製品関連

シスメックス株式会社 CSセンター

臨床(病院、臨床検査センターなど) TEL: 0120-265-034

産業(企業、保健所など) TEL: 0120-022-328

注文・納期・在庫関連

シスメックス・ビオメリュー株式会社

TEL: 03-6834-2666(代表)



シスメックス・ビオメリュー株式会社

東京都品川区大崎一丁目2番2号
大崎セントラルタワー8階

Tel: 03-6834-2669 / Fax: 03-6834-2667

<http://www.biomerieux.co.jp>



bioMérieux SA

Chemin de l'Orme
69280 Marcy-l'Etoile - France

RCS LYON 673 620 399

Tel. 33 (0)4 78 87 20 00

Fax 33 (0)4 78 87 20 90

www.biomerieux.com